

入門マクロ経済学 正誤表

ページ 誤

正

p10上から7 行目	減価を	減価分
p11下7	表される。 (経済企画庁)	表される(表1.5)。 (経済企画庁/内閣府)
p16図1.1 出所		
p23上5	いま需要の方が供給より多い <u>超過需要</u> の状態にあるとしよう。企業にとってはおつただけの物が <u>すぐ売れて</u> 、それでもまだ買いたい人が <u>あふれている</u> 状態である。このとき価格マカニズムがうまく働けば、 <u>価格が上昇して</u> 、 <u>需要を抑制し</u> 、供給を刺激して、 <u>超過需要を解消する</u> 方向に動くであろう。しかし、 <u>価格の調整スピード</u> があまり早くなければ、 <u>短期的には</u> 、 <u>超過需要は解消されない</u> 。企業は、 <u>そのような状態であれば</u> 、 <u>生産量を拡大すること</u> で、 <u>超過需要の解消に動く</u> であろう。	いま需要の方が供給より <u>少ない</u> 超過供給の状態にあるとしよう。企業にとってはおつただけの物が <u>すべて売れずに</u> 、それでもまだ買いたい人が <u>いない</u> 状態である。このとき価格マカニズムがうまく働けば、 <u>価格が下落して</u> 、 <u>需要を刺激し</u> 、供給を抑制して、 <u>超過供給を解消する</u> 方向に動くであろう。しかし、 <u>価格の調整スピード</u> があまり早くなければ、 <u>短期的には</u> 、 <u>超過供給は解消されない</u> 。企業は、 <u>そのような状態であれば</u> 、 <u>需要にあわせて生産量を調整すること</u> で、 <u>超過供給の解消に動く</u> であろう。
p25表2.2 上4	$C = c_0 + c(Y - T)$	$C = c_0 + c_1(Y - T)$
p30表2.3 上3	$\frac{1}{1 - c}$	$\frac{c}{1 - c}$
p30上1	限界貯蓄性向	政府支出乗数
p48上15	上昇する	下落する
p57表3.3 上1	線形の IS-LM モデル	(2),(3)式が線形の場合の IS-LM モデル
p57表3.3 上3	$r = \frac{-(1 - \alpha)Y + G + a}{\beta}$	$r = \frac{-(1 - \alpha)Y + G + a}{\beta}$ (a は定数)
p57表3.3 上3	$r = \frac{mY + b - M}{\alpha}$	$r = \frac{mY + b - M}{\alpha}$ (b は定数)
p67図4.3	(水平のグラフ:名称なし)	LM
p97図5.6	P	P (小文字)
p98上2	図5.3	図5.6

入門マクロ経済学 正誤表

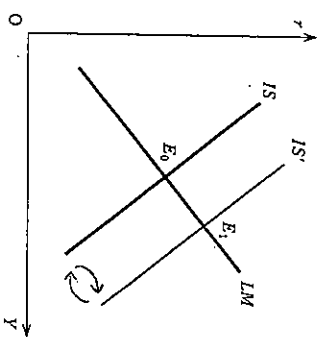
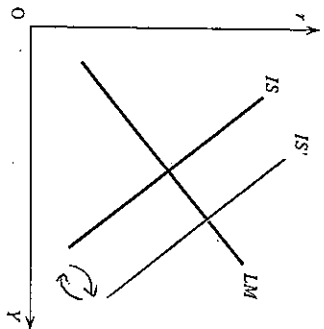
ページ 誤

正

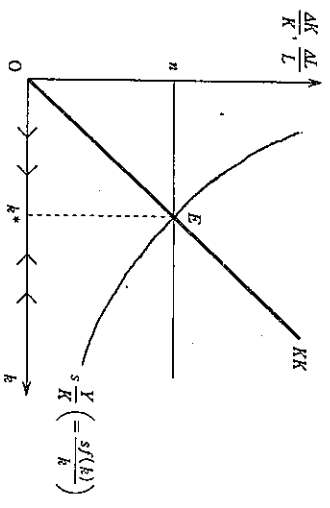
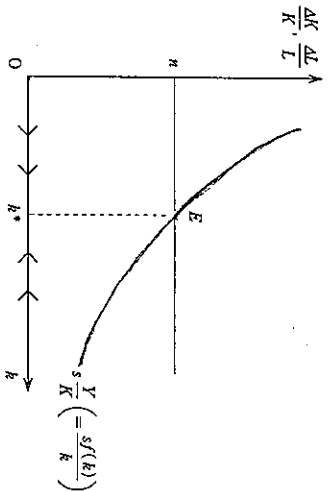
p999図	p' の上昇で	p の上昇で
p114下から1行目	$Y =$	$\hat{Y} =$ (上にはを付ける)
p134上6	調整のよって	調整によつて
p138下5	E 点	E_0 点
p138下4	YY曲線	$Y'Y'$ 曲線
p144上5	頻発に	頻繁に
p146下12	e	e_1
p147上5	e	e_1
p164F11	完全雇用	完全操業
p171下4	授賞	受賞
p180下16	$f(k) = n$	$f'(k) = n$
p191下12	迫力	説得
p193上12	資産目標仮説	目標資産仮説
p193上13	資産目標仮説	目標資産仮説
p194上5	資産目標仮説	目標資産仮説
p194上10	がある	がある。
p198下5	試算が	資産が
p203表8.3 下2段、右 2段	の Y との比率	の Y との比率 K : 資本 Y : 国民所得
p215下2	n は貯蓄率	s は貯蓄率
p216下3	しよう。	しよう (β は正の定数)。
p219上13	のよつて	によつて
p223上3	$r = (1 - \tau)F_k$	$r = F_k - \tau$
p223上5	$G_c = \beta [(1 - \tau)F_k - \rho]$	$G_c = \beta [F_k - \tau - \rho]$
p223下11	$G_c = \beta [(1 - \tau)(1 - \alpha)A(\tau)^\alpha - \rho]$	$G_c = \beta [(1 - \alpha)A(\tau)^\alpha - \tau - \rho]$

p223下1	$\frac{\alpha}{1+\alpha}$		$\{(1-\alpha)\alpha A\}^{\frac{1}{1-\alpha}}$
p228上8	多		大き
p228上11	9.3節		9.2節
p228上15	(9)式		(10)式
p232下3	山までの		山までの
p245下14	(3)		(4)
p245下11	(3)式		(4)式
p250上12	1枚		1株
p250上13	1枚		1株
p268上8	均等		均衡
p271上8	る。		る。ここで Y_t は財の供給、 C_t は消費需要、 G_t は政府支出である。
p275図 11.7上3	E_0 から E_2 への動き		E_2 から E_1 への動き
p283表 11.6	(表11.6をとる)		(表11.6を p288下に入れる)
p291上5	$e' > 0$ 。		$e' > 0$ (ここで $\hat{\cdot}$ は微分の記号)。
p291下2	決定する。		決定する。(11)式が 0 となるよう w および N で微分すると、
p309下13	利子率低下		利子率を低下
p320上6	政策が		政策を
p322下6	を本		な本

p135 図6.6



p176 図7.3



p244
図10.4

